

お気軽ウエルネス(忙しい方へ)

効果：短い時間で筋力アップと心肺機能の向上を図り、健康維持に取り組まれる方におすすめです

目標週1回  [所要時間] 50分  [エネルギー消費量] 150kcal
消費量目安は150kcal

Step1 ウォーミングアップ&ストレッチ

(血液循環を高め、筋肉や関節を温め動きやすくする)軽めの強度で10分程度の有酸素運動を行った後、ストレッチを行い体をほぐしましょう。

Step2 筋力トレーニング [ポイント] テンポ：反動をつけずに、ゆっくり行いましょう。 重さ：指定回数でややきついと感じる重さ。

MACHINE No. 5		レッグプレス 回数：10 セット：1サイクル	効果 太もも、おしりを引き締め強化する
MACHINE No. 15		レッグエクステンション 回数：10 セット：1サイクル	効果 太ももの前側を引き締め膝を強化する
MACHINE No. 1		チェストプレス 回数：10 セット：1サイクル	効果 胸と二の腕後側を引き締め強化する
MACHINE No. 8		ローロー 回数：10 セット：1サイクル	効果 背中を引き締め強化する
MACHINE No. 13		アブドミナルクランチ 回数：10 セット：1サイクル	効果 おなかを引き締め腰痛を予防する
MACHINE No. 17		ローワーバックベンチ 回数：10 セット：1サイクル	効果 腰やおしりを引き締め強化する

Step3 有酸素運動 心肺機能を高めた全身的なスタミナアップ。余分な脂肪を燃焼させる運動です。

ウォーキングがおすすめです。速度の目安はおおよそ5~6km/h、自分のリズムに合ったスピードで行いましょう。また、プールやスタジオを筋トレの後の場合是有酸素運動を省いても構いません。

時間の目安 10~15分

強度の目安 最高心拍数の50~60%

※特にオススメ「◎」、オススメ「○」



Step4 クールダウンストレッチ 使った筋肉をゆっくりと伸ばし、疲労を取り除きます。

あなたの疑問にお答えします! 裏面をご覧ください。

フィットネス Q&A [トレーニングの疑問を解消!]

Q 有酸素運動は20分以上行なわれないと効果がないのでは?

A 短時間の有酸素運動でも脂肪は燃焼します。

この話の発端は、古い実験で糖質と脂質の消費比率が運動開始後20分で切り替わり、以後は脂質への依存度が高かったという結果が元になっています。

しかし脂肪の燃焼は、1日の摂取(食べたカロリー)に対し、消費(基礎代謝や運動代謝など)でどれだけマイナスを出せるかなのです。ですから、長い継続時間にこだわらず、短時間でもマメにカラダを動かす事を習慣化しましょう。

Q 運動中の呼吸法はどのように行えばよいのか?

A 安全のため運動中は自然な呼吸法を心掛けましょう。

基本的には、重りを持ち上げる(筋肉を縮めながらチカラを出す)時に息を吐き、戻す(筋肉を伸ばしながらチカラを出す)時に息を吸います。

目的は血圧の上昇を防ぐ事なので、考えすぎて息が止まってしまうようならば意味がありません。そんな時は普段と同じ、自然な呼吸を心掛けて下さい。逆にどうしても止まってしまうような場合は負荷が高すぎるのかも知れませんが、少し軽くしてみましょう。

A [簡単栄養アドバイス]

食事はバランスが大切なのはご存知かと思いますが、もう一つ忘れてはいけないのはタイミングです。特に筋肉作りでは、運動直後や就寝前のたんぱく質(アミノ酸)の摂取がポイントです。ですから、お相撲さんの「激しい稽古の後にちゃんこを食べて昼寝する」というのは科学的に理に適っているのです。但し、食べすぎれば肥満になりますのでご注意下さい。

ウエルネスコース…週1集中

効果：週に一度の集中型健康増進プログラム。あせらずマイペースで取り組みましょう！

目標週1回  [所要時間] 45分 【エネルギー消費量】
200kcal
消費→150kcal 

Step1 ウォーミングアップ&ストレッチ

(血液循環を高め、筋肉や関節を温め動きやすくする) 軽めの強度で10分程度の有酸素運動を行った後、ストレッチを行い体をほぐしましょう。

Step2 筋カトレーニング [ポイント] テンポ：反動をつけずに、ゆっくり行いましょう。 重さ：指定回数でややきついと感じる重さ。

MACHINE No. 5 **レッグプレス**
回数：15
セット：1～2サイクル
効果
太ももやおしりを引き締め強化する



MACHINE No. 16 **レッグカール**
回数：15
セット：1～2サイクル
効果
太ももの裏を引き締め強化する



MACHINE No. 15 **レッグエクステンション**
回数：15
セット：1～2サイクル
効果
太ももの表を引き締め強化する



MACHINE No. 1 **チェストプレス**
回数：15
セット：1～2サイクル
効果
腕や二の腕を引き締め強化する



MACHINE No. 4 **ヴァーティカルトラクション**
回数：15
セット：1～2サイクル
効果
背中を引き締め強化する



MACHINE No. 2 **ペクトラルマシン**
回数：15
セット：1～2サイクル
効果
胸を引き締め強化する



MACHINE No. 3 **ショルダープレス**
回数：15
セット：1～2サイクル
効果
肩を引き締め強化する



MACHINE No. 13 **アブドミナルランチ**
回数：15
セット：1～2サイクル
効果
おなかを引き締め強化する



MACHINE No. 17 **ローワーバックベンチ**
回数：15 重さ：自重
セット：1～2サイクル
効果
腰やおしりを引き締め強化する



Step3 有酸素運動 心肺機能高め全身的なスタミナアップ。余分な脂肪を燃焼させる運動です。

ウォーキングや軽いジョギングがおすすめです。
速度の目安はおおよそ5～7km/h、じっくり汗をかきましょう。

時間の目安 15～30分

強度の目安 最高心拍数の50～60%

※特にオススメ「◎」、オススメ「○」



Step4 クールダウンストレッチ 使った筋肉をゆっくりと伸ばし、疲労を取り除きます。

 あなたの疑問にお答えします! 裏面をご覧ください。

フィットネス Q&A [トレーニングの疑問を解消!]

Q 前回と同じ重さでトレーニングしているのに、今日は重たく感じますが?

A 無理はせずに体調に合わせて行いましょう。

体調が悪い時や寝不足、仕事の疲れなどがあると、いつもより重たく感じる場合があります。身体はいつもベストの状態とは限りません。

無理して行うことはケガにつながります。その日の体調に合わせて負荷を減少させて下さい。重さ的には物足りなくても、動かす事で十分に神経系のトレーニングになっています。その分、ゆっくり動かしてみましょう。

Q 週1回のトレーニングでも効果はでるの?

A 週1回からのトレーニングでも十分効果的です。

ある実験のデータでは、週2回、3ヶ月行ったトレーニング効果を100%とした時に、週3回で70%、週1回は35%の筋力増加が認められたそうです。

効果を考えると週2回が理想的ですが、無理して続かないのであれば意味がありません。週1回でも定期的に続けられれば必ず効果は現れます。

そのため、まずは曜日や時間帯、参加するレッスンなどを決めて生活に組み込む事が大切です。

A [簡単栄養アドバイス]

食事はバランスが大切なのはご存知かと思いますが、もう一つ忘れていけないのはタイミングです。

特に筋肉作りでは、運動直後や就寝前のたんぱく質(アミノ酸)の摂取がポイントです。ですから、お相撲さんの「激しい稽古の後にちゃんこを食べて昼寝する」というのは科学的に理に適っているのです。但し、食べすぎれば肥満になりますのでご注意ください。

ウェルネスコース…週2きっちり

効果：週に2回、しっかり取り組める方のプログラムです。

目標週2回



所要時間 70分

エネルギー消費量
270kcal
消費カロリー
200kcal



Step1 ウォーミングアップ&ストレッチ

(血液循環を高め、筋肉や関節を温め動きやすくする)軽めの強度で10分程度の有酸素運動を行った後、ストレッチを行い体をほぐしましょう。

Step2 筋カトレーニング [ポイント] テンポ：反動をつけずに、ゆっくり行いましょう。重さ：指定回数でややきついと感じる重さ。

MACHINE No. 5



レッグプレス
回数：10~20
セット：2サイクル

効果
太もも、おしりを引き締め強化する

MACHINE No. 12



アダクター
回数：10~20
セット：2サイクル

効果
太ももの内側を引き締め強化する

MACHINE No. 16



レッグカール
回数：10~20
セット：2サイクル

効果
太ももの後側を引き締め強化する

MACHINE No. 11



アブダクター
回数：10~20
セット：2サイクル

効果
おしり上部を強化し姿勢を安定させる

MACHINE No. 1



チェストプレス
回数：10~20
セット：2サイクル

効果
腕や腕の腕後側を引き締め強化する

MACHINE No. 13



アブドミナルクランチ
回数：10~20
セット：2サイクル

効果
おなかを強化し腰痛を予防する

MACHINE No. 4



ヴァーティカルトラクション
回数：10~20
セット：2サイクル

効果
背中を引き締め強化する

MACHINE No. 17



ローワーバックベンチ
回数：10~20
セット：2サイクル

効果
腰やおしりを引き締め強化する

MACHINE No. 3



ショルダープレス
回数：10~20
セット：2サイクル

効果
肩を引き締め強化する

MACHINE No. 9



ロータリートーン
回数：10~20
セット：2サイクル

効果
わき腹を引き締めクビレをつくる

Step3 有酸素運動 心肺機能を高め全身的なスタミナアップ。余分な脂肪を燃焼させる運動です。

いつも同じ運動では効果が薄れる場合があります。ランニングやヴァリオとバイクを交互に行うと良いでしょう。

時間の目安 15~30分

強度の目安 最高心拍数の50~60%

※特にオススメ「◎」、オススメ「○」



Step4 クールダウンストレッチ 使った筋肉をゆっくりと伸ばし、疲労を取り除きます。

? あなたの疑問にお答えします! 裏面をご覧ください。

フィットネス Q&A [トレーニングの疑問を解消!]

Q ジムとプール両方利用したいけど、どちらを先に行った方がいいですか?

A クールダウンをプールで行うとより効果的です。

特別な目的がないのなら、ジムが先でプールが後をおすすめします。プールは浮力があるため、地上に比べて筋肉が弛みやすいので血液循環が促進され疲労回復が早まるのです。また、トレーニングにより熱を持った筋肉をプールの水(30℃前後)が冷やしてくれるため疲労回復が早まり、筋肉痛も低減されます。

Q 筋カトレーニングをすると身体が硬くなると聞きましたが?

A カラダの硬さは柔軟性と深い関わりがあるので筋トレで身体は硬くなりません。

確かに、トレーニングにより鍛えられた筋肉はチカラを入れると硬くなります。しかし、安静時の筋肉は、筋肉の量や筋力に関わらず、硬さは変わらないものです。実際、筋肉隆々のボディビルダーの方は柔軟性の高い方が多く、筋肉・運動不足の方にはカラダの硬い事が多いのです。運動不足の方に多い腰痛、肩こりはその典型と言えます。つまり、カラダの硬さは、筋カトレーニングの影響というよりは、柔軟性を養う運動の不足と言えます。

A [簡単栄養アドバイス]

食事はバランスが大切なのはご存知かと思いますが、もう1つ忘れてはいけないのはタイミングです。特に筋肉作りでは、運動直後や就寝前のたんぱく質(アミノ酸)の摂取がポイントです。ですから、お相撲さんの「激しい稽古の後にちゃんこを食べて昼寝する」というのは科学的に理に合っているのです。但し、食べすぎれば肥満になりますのでご注意ください